

新規領域の事業開拓に向けた体制強化について
～デジタル技術を活用したグリッド事業の開発を推進する「マネージドサービス推進部」を設置～

株式会社東光高岳(代表取締役社長:一ノ瀬 貴士、以下「東光高岳」)は、「2027 中期経営計画」※1 において、コア事業(電力ネットワークを構成する機器やシステムの製造・販売)に加え、拡大分野(コア事業を活用)や成長分野での売上・利益拡大を目標に掲げており、新規領域の事業開拓が急務となっております。

そのため、拡大分野と成長分野の事業開拓を推進する組織を、電力プラント事業本部に 6 月 27 日付で設置したことをお知らせいたします。

※1:2025/4/25 公表 新たな「東光高岳グループ経営理念」の制定および「2027 中期経営計画」の策定について

https://www.tktk.co.jp/news/assets/pdf/news_20250425_3.pdf

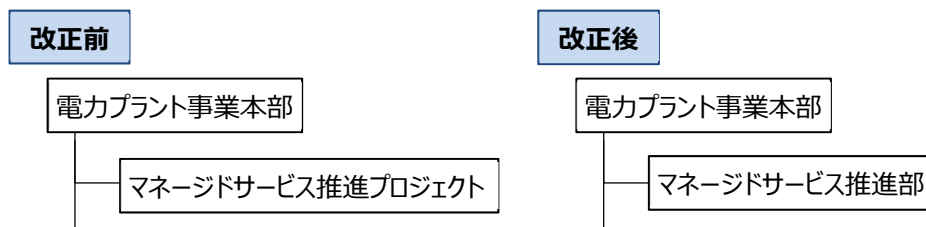
○電力プラント事業本部にグリッド事業の開発を推進する「マネージドサービス推進部」を設置

現在、東光高岳の事業基盤となる電力エネルギー市場(電力機器事業)は、DX(生成 AI、ロボティクス等)と GX(再エネ増加、電化促進、水素利活用等の進展)により大きく伸長しております。一方で、再生可能エネルギーの増加に伴う配電網は複雑化され、高度化運用によるエネルギー活用の効率化や低インシャルコスト化、メンテナンスミニマム化の指向が拡大しております。

この市場ニーズを満たすべく、配電系統における電力調整プラットフォーム(DSPF; Distribution Sustainable service Plat Form)の開発など、デジタル技術を活用したグリッド事業の開発を推進する「マネージドサービス推進プロジェクト」を電力プラント事業本部に発足させ検討を進めてまいりましたが、このたび「マネージドサービス推進部」を 6 月 27 日付で設置いたしました。また、当部を中核とした事業本部横断のワーキンググループを設置し、高度なエネルギー運用の社会実装を目指します。

東光高岳は、経営理念に掲げるパーパス「笑顔あふれる未来のため、確かな技術と共創で人と社会のエネルギーを支え続ける」の実現に向け、社会課題の解決を目指し、さまざまな取組みを加速させてまいります。

<参考 組織図改正前後比較>



以 上

【お問い合わせ先】

株式会社東光高岳
電力プラント事業本部 事業企画部
電 話 : 03-6371-4468